

桜町高齢者在宅サービスセンター・本町高齢者在宅サービスセンター合同
地域密着型運営推進会議 報告書

開催日時	2025年4月8日 14:00～15:00
開催場所	桜町高齢者在宅サービスセンター 2F 地域支援部屋
参加者	ご利用者家族： 桜町センターご利用者様 ご家族 A様 地域住民代表： 行政書士 B様 所在地管轄職員： 小金井きた地域包括支援センター職員 C様 小金井きた地域包括支援センター職員 D様 センター職員： 在宅サービス部 課長 桜町デイサービス相談員 (以下：桜町相談員) 本町デイサービス相談員 (以下：本町相談員) 事務員
司会進行	在宅サービス部 課長
書記	事務員
【議事録】 1. 出席者の自己紹介 2. 聖ヨハネ会高齢福祉部門の事業運営状況報告（長津課長より） 聖ヨハネ会の理念と2025年度の運営方針の説明あり。 ※添付資料 3. 認知症対応型デイサービスの状況報告 ・桜町高齢者在宅サービスセンター（桜町相談員）※添付資料 定員24名（12名×2グループ）、一日の利用目標人数15名のところ、平均利用人数は13.5名と低迷している。 介護度は要介護1～3のご利用者が多く、お元気で動ける方が多い。そのため対応する人員が必要となり、外出などは難しく、敷地内散歩、歌、音楽セラピー、脳トレなどの活動を行っている。 新規の入浴希望にも対応するため、午後の入浴を順次開始していく予定である。 入浴設備の関係で、重度の方は本町センターへご紹介するなど連携、情報交換をしている。 ・本町高齢者在宅サービスセンター（本町相談員）※添付資料 要介護3～5の中重度のご利用者が多く、医療ニーズの高いご利用者も受け入れている。 冬場の感染症や体調不良でのお休み、入院、入所などで利用率は低迷している。今後も利用率向上のため、桜町センター、ケアマネ、医療関係者などと情報連携していきたい。 受託事業の家族介護継続支援事業「認知症高齢者を支える介護者の集い」にて講習会や交流会を開催している。	

4. 意見交換（質疑応答）

課長・・・桜町センターは要介護1～3、本町センターは要介護3～5のご利用者が多くすみ分けができていることがわかる。

A様・・・最初はデイに行くことを渋っていたが、最近は待ち遠しく感じているようだ。週一回でもデイで入浴してもらい助かっている。

桜町相談員・A様は最初1Fの一般デイのご利用から始まったが、落ち着いたケアの出来る認知デイへの移行をスムーズに受け入れていただいた。

B様・・・過度に利用率の目標だけを考えるのではなく、職員も余裕をもって接することができると良い。認知症のご利用者は第六感的に感じ取る部分もあり、職員の方々の焦っている気持ちが伝わりやすいのではないかと。ご家族に対しても、少し立ち止まって話を聞いて、ご利用者について少し連絡があるだけで、安心してもらえ、事があると思う。難しいことだが、ご利用者も職員も居心地良く過ごせる環境になると良い。

課長・・・利用率とケアの質のバランスは非常に難しいところではあるが、反省点と捉えご利用者はもちろん、ご家族にとってもより良いサービスにしていきたい。

D様・・・ケアマネに対する空き状況などを伝えるFAXを工夫するなどしてはどうか。

課長・・・来ていただければ良さがわかると思うが、当法人は良さをPRすることが苦手なところがある。

B様・・・サービスを利用するに当たっては、スピード感が要因の一つにあって、ご家族やご利用者の多くは「利用したい・利用を検討する」段階で何か所も見学やお試しを考えるのではなく、見学して良かったら決めようという感覚だと思う。その時点で事業所として大切なのは、まず「候補に挙がる」事が重要。様々な機会に認知してもらう働きかけが必要ではないか。

C様・・・ヨハネ会は発信力が弱いと感じる。他の事業所は毎週のように空き情報を目に見える形で伝えている。もっと書面やホームページでアピールできると良い。

65歳を超えた障害者の高齢福祉への切り替えについて、障害福祉との連携が弱いので、活用していければ裾野が広がると思う。

課長・・・本町センターで1名、ヨハネワークセンターから紹介いただき、利用定着している例がある。

5. 包括支援センターより（C様）

包括では第3土曜日、オレンジカフェを開催している。リピーターも多く毎回20名以上の参加がある。また第4金曜日PM2：00～は梶野町（リーフエスコート）でもオレンジカフェを開催しているので、ぜひ参加ください。

6. 次回開催予定： 2025年9月